

イ 棚卸減耗損、商品評価損

棚卸減耗損—期末に棚卸した際に帳簿数量よりも少ない場合の損失(費用で処理する。)

商品評価損—期末に商品の時価が原価よりも低くなっている場合の損失(費用で処理する。)

・期末において、商品の棚卸高は次の通り。棚卸減耗損と商品評価損は売上原価の内訳項目とする。

()を埋め、決算整理仕訳を行え。

帳簿棚卸高 450 個、帳簿価額@800 円

実地棚卸高 444 個、正味売却価額@795 円

売上原価

1 商品期首棚卸高 330,000

2 当期商品仕入高 5,450,000

合計 ()

3 商品期末棚卸高 ()

差引 ()

4 ()()

5 ()() ()

【解答】

イ 棚卸減耗損、商品評価損

棚卸減耗損—期末に棚卸した際に帳簿数量よりも少ない場合の損失(費用で処理する。)

商品評価損—期末に商品の時価が原価よりも低くなっている場合の損失(費用で処理する。)

・期末において、商品の棚卸高は次の通り。棚卸減耗損と商品評価損は売上原価の内訳項目とする。

()を埋め、決算整理仕訳を行え。

帳簿棚卸高 450 個、帳簿価額@800 円

実地棚卸高 444 個、正味売却価額@795 円

売上原価

1 商品期首棚卸高	330,000	
2 当期商品仕入高	5,450,000	
合計	(5,780,000)	
3 商品期末棚卸高	(360,000)	
差引	(5,420,000)	
4 (棚卸減耗損)	(4,800)	
5 (商品評価損)	(2,220)	(5,427,020)

(決算整理仕訳)

棚卸減耗損(仕入)	4,800	／	繰越商品	4,800
商品評価損(仕入)	2,220		繰越商品	2,220